

八戸港モーダルコンビネーション調査検討事業について

【事業概要】

将来的なトラック輸送能力の不足を見据え、荷主が八戸港利用に踏み出すための検討をしていただくため、実際に試験輸送を実施し、分析結果をもとに、八戸港を利用したモーダルコンビネーションにより物流の効率化が期待できる荷主にPRするとともに八戸港の取扱貨物の獲得を目指すもの。

【令和6年度実施内容】

(1) 新規海運需要の調査及び輸送ルートの構築

現在、海運を活用していない荷主を中心に、八戸港を活用した場合の物流効率化のために有効な輸送ルートを構築。

(2) 試験輸送の実施及び分析

構築した輸送ルートについて、経済的なメリット・デメリットや、リードタイム、輸送品質などを検証するための試験輸送を実施し、結果を分析。

(3) 試験輸送結果の共有及び利用促進へのPR

試験輸送の分析をもとに、試験輸送結果から物流効率化のメリットが期待できる業態等を分析、荷主等に向けて八戸港を活用したモーダルコンビネーションによる物流効率化をPRし、新たな取扱貨物の獲得のためのポートセールスを実施。

【進捗状況】

- ・試験輸送を検討中の事業者数社と連携し、試験輸送ルートを構築している。
(現在検討中の輸送品目等)
- ・土木資材など、その形状からRORO船で国内から輸送するもの
- ・りんご等の日持ちする県産品をコンテナで海外へ輸送するもの